

氏名 (学校名)	福田 奈都美 (大妻女子大学)	国 (希望する体験)	カンボジア (日本語教育)	企画 テーマ	日本文化体験を通した 日本語教育
受入れ先	光・共立語学スクール (シェムリアップ)	期間	8月27日(火)～ 9月10日(火)	担当者	本田 みのりさん
日にち	活動内容		体験日誌		
8月27日	① 自己紹介 ② 自己紹介と外遊び ③ 自己紹介とカタカナ ④ ボランティアの見学		子供達は日本語の自己紹介がとても流暢で驚きました。また、学習というよりも声を出したり、実際に行ったりすることで、自然に身につけているのだと感じた。		
8月28日	① カルタを使ってひらがな学習 ② ボランティアと一緒に歌と絵かきしりとり ③ ひらがなをカタカナに変換 ④ ボランティアと一緒に自己紹介と歌と絵かきしりとり		カルタを使ったひらがなゲームはとても好評だった。全員流れとして50音を言えるが、実際に私が発音し、文字を選ぶと間違える場面が多いと感じた。 また、歌を覚えるのはとても早く聞いて発音する力はとても高いと感じた。 		
8月29日	① ボランティアと一緒に歌と何個かけるかゲーム ② カルタと50音で単語作り ③ 自己紹介の練習(書きと話し)と「ありがとう」の使い方。 ④ カルタを使ってひらがな学習		歌は前日の通り覚えがとても早く、子供達の好きなのだと感じる部分が多かった。カルタを使って50音とかざられたなかだったが、一枚もカードを残すことなく、組み合わせを工夫して全てのカードを使い切ったことに、語彙力があると感じた。また、大人のクラスでは自己紹介を行なったが、文節の区切りをまだやっていないので自己紹介が全て繋がりが聞き取るのが困難であることが課題であると感じた。 		
8月30日	① 授業なし ② 友達紹介と食べ物の単語を覚える ③ カタカナの復習と濁点のカタカナ ④ ひらがなとカタカナの復習		②のクラスは文字などが完璧のため、単語を増やすことにした。食材のカルタを持参していたため、食材当てゲームを行った。③のクラスの濁点では『ず』の発音に苦戦していた。クメール語に似た発音がないらしいので、口の使い方がわからないのではないかと思います。		
*1週間の感想と今後の目標 初日はとても緊張しました。子供達の名前をすぐに覚えてあげたかったけど、名前が難しくなかなか覚えてあげられませんでした。授業も行うのは初めての経験だったので、来週はもっとスムーズにできるようにしたいです。			*受け入れ先の担当者のコメント 子供たちの名前を少しでも覚えて、より仲良くなろうと努力する姿が垣間見えました。授業でも、子供たちの名前を言いながら指示を出したりするなど、積極的に実践していたので大変良かったです。カンボジア人の先生のサポートもあって、初めてでありながら、それぞれのクラスで楽しい雰囲気の中で活動ができていたと思います。		

日にち	活動内容	体験日誌
9月2日	① ひらがなとカタカナの復習とカードを使った単語作り ② 休日の出来事を文章化して発表する。述語の選択問題。 ③ 授業なし ④ ひらがなとカタカナの復習	先週の授業を通して、カタカナが少し弱いと感じたため、各自ノートに書かせ、個人的に苦手な部分を練習してもらった。やはりクラスで個人差が多くあると感じました。また、②のクラスは自分の考えを文章にすることを行い、考えて伝えることができるようにしたいと思っている。文章を見ておかしなところを直すことで、これからの力になればと思う。
9月3日	① 反対言葉のカードゲーム ② 教科書で「～できる」「～できない」の書き換え練習。 ③ カタカナの残りの部分と総復習 ④ 反対言葉の学習	反対言葉をやったが、絵と絵を合わせることはでき、そこに書いてある文字は読める生徒が多い。しかし、片方を読んで対のカードを答えてもらおうと、わからない生徒が多かった。そしてわからないと飽きてしまう生徒もいた。難しすぎず、着実にステップアップさせることが必要だと感じた。初めて教科書を使ってやったが、生徒があまり楽しそうではなかった。ので、今までの復習をゲームとして、定着させる方向にしようと感じた。 
9月4日	① 反対言葉の神経衰弱と動物当てゲーム ② ボランティアのサポート（道案内） ③ 反対言葉の学習 ④ 反対言葉の神経衰弱	今回は反対言葉をメインに行った。昨日よりも半タウ言葉覚えていた子が多くなっていて、成長を感じた。また、ボランティアの道案内の授業は、制作物がとてもわかりやすく楽しい授業でした。大人の授業はゲームではなく、座学で一つずつ意味を解説しながら教えることにすることで、確実な定着を目指したい。 
9月5日	① 動作カードを使ったゲーム ② 反対言葉の神経衰弱とババ抜き ③ 反対言葉の学習 ④ 動作カードを使ったゲーム	今日からは、今まで勉強してきたことをアウトプットできる授業を行なった。今までなかなかひらがなやカタカナが読めなかった子供が、読めるようになってとても嬉しく感じた。大人のクラスは、文字を書くスピードが上がり、一階に教えられることが増えた。
9月6日	① 反対言葉カードを使ったゲーム ② 反対言葉のババ抜き ③ 反対言葉の学習 ④ 動作カードゲームと反対言葉当てクイズ	今日のメインは反対言葉を行なった。①のクラスで反対の言葉を聞いて対のカードを取るゲームを行なったが、クラスで日本語の学習が進んでいると思われた、2人は答えがわからなかったことに諦め途中で休憩してしまったことがあった。他の子達も適当に、カードを選んでおりあまり意味がないと判断したため、ジェスチャーを交え行なったところ良い学習絵と発展していくことができた。③と④のクラスは反対言葉の学習を通して、ひらがなの読み書きが上達してきた。 
*1週間の感想と今後の目標 今週から、反対言葉に力を入れました。各クラスに合わせた教え方は、とても悩んだけど、子供達の笑顔が見られたときはとても嬉しかったです。来週はボランティアが多いので、新鮮な気持ちで頑張りたいです。		*受け入れ先の担当者のコメント カードゲームを使った言葉遊びを通して、日本語のボキャブラリーを増やすための活動が主でした。福田さんも書いていた通り、各クラスの日本語のレベルがそれぞれ異なるため、難易度をどうするか悩んでいた様子でした。しかし、思いのほか子供たちはカードゲームに夢中になり、尚且つ言葉をすぐ覚えていたので、見ているこちらがビックリでした。

日にち	活動内容	体験日誌
9月9日	① ボランティアの手伝い（自己紹介と寿司屋さん） ② 休日のスピーチと反対言葉 ③ 授業なし ④ 今までの総復習（ひらがな、カタカナ、反対言葉）	<p>本日で、ほとんどの授業が最後だったので今までの復習を行なった。ボランティアが来ているクラスは、ボランティアの人たちの企画を行なった。寿司屋さんの企画は、実際に寿司ネタの模型を持参しており、寿司の名前を覚えるときにとても効果的であると感じた。また、おままごのように寿司屋になることで、楽しく勉強ができていた。②のクラスは文章を考えながら話せるまで成長していてとても嬉しかった。また先週ノートに書いて直した文章の接続が、改善されていた。</p>
9月10日	① ボランティアの手伝い PM 帰国	

※①～④はクラスを示す。

- ① 生徒数（8人）小学校高学年
- ② 生徒数（4人）中学生
- ③ 生徒数（3人）大人
- ④ 生徒数（8人）小学校低学年



総 評

- ◆氏 名： 福田 奈都美 (大妻女子大学)
◆受け入れ先： 光・共立語学スクール
◆企画テーマ： 日本文化体験を通した日本語教育
◆体験期間： 2019年8月27日～2019年9月10日

<感想>

今回のインターンを通して学んだことは、2つある。

1つ目は子供達を目線に立つて考えることが大切であることである。言語が異なる生徒に授業をすることは初めての体験で未知の世界であった。日本では、言葉でやることを説明したり、生徒にヒントを与え学習の手助けをしたりすることは容易であるため、多少のこちらの考えで授業を進めても問題はないが、言葉が通じない授業ではそう上手くはいかない。そこで現地の先生の様子を観察したところ、皆生徒と同じように授業を楽しんで行なっていた。その様子は『教える』というよりも『共に学ぶ』という感じだった。そこで私も生徒と同じ目線に立って、生徒たちの表情をととても気にして行なった。するとゲーム中、学習が追いついていなくあまり参加できていない生徒。反対に暇を持て余してしまう生徒が混在していることに気づいた。そこで私はチームゲームを行うときは力が均等になるように調整したり、課題を工夫したりすることで、多くの生徒が満足できるように授業を改善した。

2つ目は対象の人によって、教え方を変えることである。子供達は聞いて発音することが得意だが、大人になると聞いても上手く発音できないことが多い。そのため私は子供達には音声で伝える授業を多くし、大人のクラスは文字で表して意味を伝えつつ、発音を確認しながらの授業を行なった。すると大人の人たちは読み書きも早くなったと感じ取れた。そして、子供達はまだ書くことは難しくても読むことはできる生徒が増えた。

今回のインターンで学んだことを通して、教員の道に行くにしても企業の道に進むにしても、相手に合わせた、考え方ができるように頑張っていきたい。

<受入れ先コメント>

受入れ担当者： 本田 みのり 役職： 学校責任者

2週間お疲れ様でした。初日から何度か様子を見ていて、他の先生や学生たちと積極的に楽しく交流できていたと思います。途中ボランティアの人たちも何人か来る機会がありましたが、協力して活動できたようで良かったです。

また、シェムリアップは今回が初めてとのことで、アンコールワットを始めとした遺跡観光など、プライベートの面でも充実した滞在となったのではないのでしょうか。福田さんが前回訪れたというプノンペンとは、また全然違った雰囲気を感じ取れたかと思います。

あっという間ではありましたが、今回の経験をぜひ将来に活かしていただければ嬉しいです。

本当にありがとうございました。